

1. 園田 聡

最近ではスマホでラジオが聴けるアプリの radiko(ラジコ)を聴きながら散歩とジョギングを楽しんでいます。リアルタイムで聴けなくても過去の番組も聴けます。お気に入りには、“桑田佳祐の優しい夜遊び”、80年代のディスコがメインの“RADIO DISCO”、小林克也の“Best Hit USA”です。ラジオの良さを再認識しています。

2. 森田 章夫

近くの教会で、米人牧師による英語聖書の解説と英会話を行っており、7年間参加しています。聖書の解説半分、トピックスを主にした英会話半分で、仲間とエンジョイしていますが、なかなか聖書の教え通り、自己研鑽、実践出来ていません。

世界最大のベストセラーへの挑戦と幾分かキリスト教を理解できればと続けていきます。

3. 坂井 清治

現役時に発症した内頸動脈閉塞症による開頭、脊柱管狭窄症による開腰夫々手術後

通院と投薬継続中。近場以外の外出は厳しく栄寿会の諸行事を欠席させて頂いており、心苦しい限りですがご容赦の程お願いします。栄寿会の益々のご発展を祈念しております。

4. 井上 圭司

昨年はそろそろ喜寿で喜ばしい年が迎えられると思ったのもつかの間泌尿器に病が見つかり、更に手術前検査で高血圧、不整脈から心房細動も発覚、血栓防止薬を服用しながら年末に手術を行ないました。

二ヶ月程経ち泌尿器は多少落ち着いたものの心臓の方は自覚症状がないものの早晚カテーテルによる手術が必要になりそうです。今まで病気知らずで、歯医者や健康診断ぐらいしか医者にかかった事がない私でしたが、医者の息子に言わせると病院に行かなかったら病気が見つからなかっただけと言われ、歳を取ったら病院のお世話になる事も必要かなと思われ知らされました。人生100年時代とも言われて居り、元気に戻れるよう今後は体調管理に努めたいと思っております。

5. 野村 佳弘

「67歳になりました。例年以上にスポーツ観戦で愉しんでいます。サッカー、J1昇格した地元町田ゼルビア戦、ワールドカップ予選 日本代表戦、プロ野球（巨人戦）等、画面越しではなく、現場で感動。これが若さを保つ秘訣でもあります。そして唯一自身でプレーするゴルフ（関東支部同好会）、ただ、これは先輩諸氏に完敗です。」

6. 伊藤 照男

元気でおります。相変わらず JASS でイベント活動を行っております。年齢にかかわらず活動がいつまで続くか？（現在86才） 現在日光街道を歩いております。

7. 山本 武

この1月で何とか卒寿を迎え、あらためてこれからの自身の健康対策について考えさせられる毎日を送っています。特に歩行能力低下がいちじるしく、長時間・長距離歩くには全然出来なく自分自身の衰れさを感じています。近くのスポーツジムへ毎日通って水中ウォーキングを30分程度してます。（日曜日は休む）しかしながらあまり効果はなし。やはり年令に伴う老化には勝てずです。

8. 青柳 慶治

今年で77才となりました。元旦の地震及び空港の事故と今年も荒れる年となるように予感されます。とくに能登地震に於いては釣りに行った際お世話になった、民宿の御夫婦の安否が気になりますが、連絡が取れず、やきもきしている状態です。お二人ともに元気でいられることを願っている所です。

9. 尾羽林 秀司

今年の誕生日を迎え89歳になりました。一生のうちに厄年は3回有ることになっていますがいずれも気に留めず知らないうちに過ごしていましたが、これからは毎年が厄（八九）年と捉えて慎ましやかに暮らしたいと思います。年々体力が少しずつ低下していることが気になりますが筋トレ、ストレッチ、ゴルフなどは続け、老いに逆らう様に頑張り取敢えずは卒寿を乗り切ろうと思っているこの頃です。

10. 伊藤 政朗

2024年は元旦に能登半島地震、2日は羽田空港江衝突事故が起こり多難なスタートになりました。村田も和倉、穴水、羽咋の3工場が被災しましたが、一月も早い復旧修理を願っています。私は後期高齢者となりましたが、コロナ10波・インフルエンザにも感染せずお陰様で元気しております。今年は今まで行きたかった東日本の各地を色々歩き回りたいと思っております。栄寿会の行事にも出来るだけ参加させていただきます。

11. 梶 真佐男

お陰様で米寿を迎えることができました。これからも趣味の無線を楽しみながら卒寿を迎えられるよう、毎日を大切に生きたいと願っています。能登の復旧を心から祈念します。

12. 唐沢 勝次

今年は7回目の年男で84才となりました。持病を抱えながら、日常生活には大きな支障なく過ごしております。現在町会活動に参加し、高齢化に伴う「生活と命を守る」テーマに取り組み、日々新たなる刺激を受けながら自身の老化対策になればと過ごしております。

13. 原口 春幸

おかげさまで元気で82歳を迎えました。2月に横浜市長より町内会長在職20年記念表彰をいただきました。ご協力、ご支援くださった方々のお陰と感謝しております。

14. 大高 治

今年は7回目の年男、横浜の総鎮守、伊勢山皇大神宮の崇敬会の会員でもありますので、自分への褒美と袴を着て散豆人になりました。「ここに下さいという人」と目が合うとそこに投げていました。超大型船が横浜港に入港出来なくなった半面、東京港から出航のクルーズ船のお客様が横浜港に来てしまう例が多く、そうした方々を、東京港に案内するボランティア活動が増えています。英語、日本語が不十分な外国人の運転手さんが多い事には驚いています。

15. 桑島 孝

3月に連れ合いと台湾旅行、4月に中学時代の友人との伊香保温泉への旅行、また栄寿会でのカラオケ同好会、散策、地元の健康麻雀が週2回と毎日元気に楽しく過ごしております。6回目の年男となりましたが7回目も無事に迎えたいと存じています。